

SKYWARD

August 2011

8

Oaxaca, Mexico

メキシコ

天然色の町、オアハカにて。

Hokkaido

北海道

最果てフシギ紀行

あなたの鍵は、きつとイビサが持っている

イビサ島

スペイン



JALの機内エンターテインメント、
音楽、ビデオは1行べり金を買ください。
ご搭乗のお客様と自由にお付き合いください。



暮らしに寄り添うように続く祈りの道、小辺路

ていった。風にも不思議な力の宿りが感じられる。非常にクリアで、ピンと張り詰めた空気に満たされた境内。「ここには確かに神がいる」と思わずにはいられない。

播磨の西山さんに神社の歴史をはじめ、さまざまなお話を聞いた。中でも印象的だったのは、「神道はもちろん、玉置神社には日本の宗教の歴史すべてがあります」との言葉。例えば、神社の本社である「玉置石社」には、社殿の類はなく、ただ信仰の対象となる石があるだけ。最も原始的な信仰である自然崇拜を思わせる。また、現在の社務所は、通常の神社の造りとは異質な、洗

練されたみやびやかさが漂う。それは中世に寺院であったことの名残なのだという。

そして、玉置神社を語る上で欠かせないのが修験道である。奈良県吉野と和歌山県の熊野本宮大社を結ぶ大峯奥駈道は修験道の修行の道として知られ、玉置神社は、この道がなくなるとの行場の内、10番目の行場にあたる。急峻な山の尾根を結ぶ岩場や道なき道を駆け、厳しい修行に励む修験者にとっても特別な場所である。

このようにさまざまな信仰を抱きとめてきた懐深い神のおわす地を訪れる者に悠久の時の流れを感じ

させずにはおかない。

世界遺産の2つの道に心癒される

十津川村には世界遺産に登録された道が2つある。ひとつは先に紹介した大峯奥駈道で、「紀伊山地の霊場と参詣道」のひとつである。一方、小辺路は、いわゆる熊野古道のひとつで、高野山と熊野本宮大社を結ぶ道だ。小辺路も大峯奥駈道同様に、山深い場所を通るが、熊野本宮大社への参詣者が通った道で、地元的生活路としても使用された道という点で異なる。古道沿いに民

家や田畑が広がり、路傍に石畳や石仏が点在。日本の原風景に触れながらの散策が楽しめる。空を流れる雲が形を変えようとする様子、山の向こうからかすかに聞こえる鳥の声や水が流れる音など……。そんなことに気づいた時、心が「ふっ」と癒されていく。

今回の旅で出会った村人、何人かには、「十津川はいいところですね」と感想を伝えた。すると「自分らにはいいかどうか、分からんなあ？ 村に来てくれる人が喜んでくれるのはうれしいけどな」と同じ言葉が返ってきた。そんな時、彼らが見せてくれた笑顔に、癒される気がした。



上「小辺路」を歩いていると森の中や峠、棚田など様々な風景が楽しめる。写真は、十津川集落～三浦峠の古道沿いにある棚田。水音に映る空と緑の緑が美しい。



上「小辺路」沿いにある庚申さんの石仏。集落の人々が土地の守り神として祀ったものだという。下「小辺路」近くにある山天集落の松葉良久さんと俊子さんご夫妻。カメラを向けると素敵な笑顔で応えてくれた。松葉さんのお宅を始め、この辺りのいくつかのお宅では、農家民宿として、民宿体験を行っている。民宿の問合せは電話／0746(67)0788(かんのかわHBP)





「小辺路」沿いの三浦集落近くにある杉の大木。推定樹齢500年。ここにはかつて、古道を通る人たちが相手の旅籠があり、宿の防風林として植えられたと考えられている